



水管理・除草剤使用のポイント

【水管理のポイント】

- 移植後は直ちに入水し、活着までの1～2日は水深4～6cmにする。
- 気温が高く、日照があるときは2～3cmの浅水にし、水温・地温の上昇を図る。
- 低温や強風のときは、稲の成長に合わせて草丈の3/4程度の深水にする。
- 入水は、用水と水田水温の差の小さい時間帯(午後8時～翌朝6時頃)に行い、日中は止水とする。

【除草剤の使用】(通常の使用方法)

- 除草剤はラベルをしっかりと読み、適切に使用する。
 - ☞ 使用時期・使用量・使用方法及びかんがい水の管理に留意しましょう！
- 散布時の水深は3～5cmとし、必ず止水で行い、7日間程度は水が流れ出ないようにする。
- 高温時の散布は薬害の発生が懸念されるため、散布時・散布後の気象条件に注意する。

こんなときどうする・・・？



入水に時間が掛かる場合は、除草剤の使用方法・剤型に注意する必要があります。減水状況を確認し、状況により散布方法を検討しましょう。

☞ 減水状況が分からない場合は、一度入水し除草剤の使用前に水深を上げ、減水状況を確認してみましょう。

- ① 1日の減水深が2cm以下の場合 → 通常通りの方法で散布する
- ② 3日程度で水が無くなってしまう場合
→ 急いで入水すると処理層が壊れてしまうため、ゆっくりと入水し
田面が露出しないように努める
- ③ すぐに無くなってしまう場合 → 漏水箇所を確認する！
※乾燥が進んでいた場合は、畦からの漏水が多い可能性が高いです
 - 1) 畦から抜けている もしくは 穴が空いている
→ 波板等を入れて水を止める
 - 2) 古い暗きょから抜けている
→ 古い暗きょ管を潰して水を止める(漏水防止)、
もしくは、土壌処理ではなく茎葉散布による方法を検討しましょう

